

設 計 書 作 成 要 領
【土木工事】

令和8年4月
青森県県土整備部

1 はじめに

本要領は、公共土木工事を発注するにあたって必要となる資料を作成するにあたって、基本となる事項を定めたものである。

なお、細別上の構成及び用語については、「新土木工事積算大系の解説」「新土木工事積算大系用語定義集」（国土交通省 国土技術政策総合研究所のホームページよりダウンロード可能）を参考とするものとする。

2 用語の定義及び構成

(1) 用語の定義

本要領において使用される用語の定義は、以下によるものとする。

1) 設計書

工事価格を算出するための根拠を示した資料であり、工事請負契約締結時の発注者控えとなるものである。

2) 契約図書

受注者と工事請負契約を交わすための図書であり、工事請負契約締結時は受注者の控えとなるもの。契約書及び設計図書よりなる。

3) 契約書

工事請負契約を交わすにあたっての基本的な権利義務関係を明確にしたもので、県で共通的に作成されるもの。工事名、工事場所、工期、請負代金額などの契約事項が記載された書面部分と受注者の権利義務などを定めている条項部分よりなる。

4) 設計図書

契約図書を構成するもので、工事目的物を造るにあたって要求する技術的内容を明示した図書であり、共通仕様書、特記仕様書、工事数量総括表、図面により構成される。

5) 共通仕様書

施工時の作業順序、使用材料の品質、数量、仕上げ程度、施工方法等、工事を施工するうえで必要となる技術的要求、工事内容を説明したもののうち、全工事に共通する定型的内容を盛り込み作成したもの。

6) 特記仕様書

共通仕様書を補足し、工事の施工に関する明細又は工事に固有の技術的要求を定めたもの。

7) 工事数量総括表

工事内容を構成する工種などの項目の数量及び規格を示したもの。

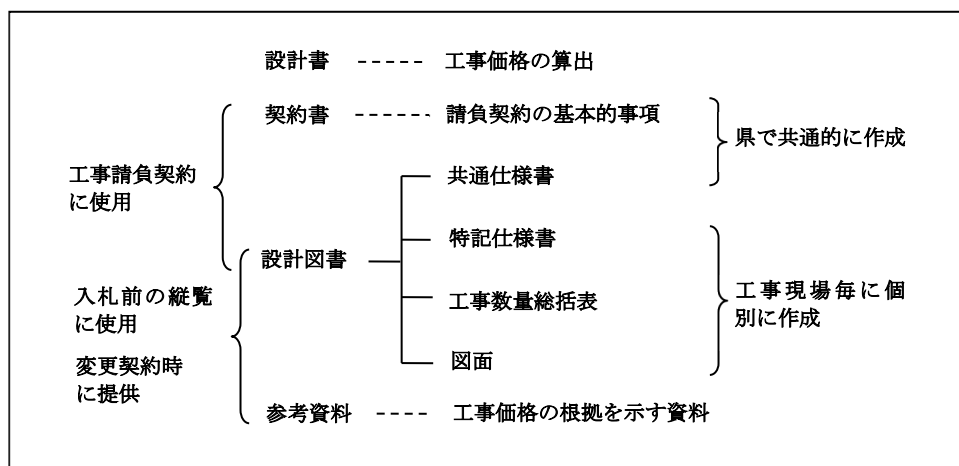
8) 図面

工事目的物を示した設計図。

9) 参考資料

工事（予定）価格の根拠を入札予定者若しくは受注者に示すための資料。なお、本資料は請負契約を拘束するものではない。

(2) 構成



3 作成資料内訳

公共工事を発注するにあたっては、「設計書」「設計図書」「参考資料」を作成するものとし、それぞれの作成資料及び使用区分は以下のとおりとなる。

使用区分			作成資料
設計書	設計図書	参考資料	
○			①設計書表紙
○			②工事総括表
○			③設計内訳書（本工事、附帯工事）
○			④諸経費内訳（共通仮設費内訳、現場管理費、一般管理費等）
○			⑤積算参考資料（間接費補正一覧）
○			⑥間接費一覧
○			⑦一式当り内訳書
○			⑧単価表
○			⑨登録単価
○			⑩入力データリスト（金入り）
○			⑪その他必要な資料（登録単価根拠資料等）
	○		⑫特記仕様書
	○		⑬工事数量総括表
		○	⑭参考資料表紙
		○	⑮積算参考資料（間接費補正一覧）
		○	⑯金抜き設計書（③,⑦,⑧）
		○	⑰入力データリスト（金抜き）
		○	⑱金抜き登録単価根拠資料 ※物価資料掲載単価以外は金入りを可とする。
		○	⑲数量計算書（数量集計表、詳細数量計算書）
	○		⑳図面（位置図、平面図、縦断図、標準横断図、横断図、一般図、構造図等）

※参考資料は、書類削減を考慮した標準的な資料を記載しており、発注公所の独自運用等によるその他参考資料の添付を制限するものではありません。

※「⑩入力データリスト（金入り）」は、印刷メニュー画面で「金抜き」のチェックを外し「構成比を出力する」のチェックを入れた状態で出力します。

※「⑮積算参考資料」は、金入り設計書（⑤）で出力されます。

4 作成資料

(1) 設計書表紙

設計書表紙には、施工年度、工事番号、工事名、施工地内を記載するものとする。

(2) 工事総括表

工事総括表には、工事概要、設計額、請負額（変更時）を記載するものとする。なお、工事概要には、施工延長及び（レベル2）（細別）の内容を記載するものとするが、必要に応じて細別（レベル4）を記入するものとする。

(3) 設計内訳書、一式当り内訳書

設計内訳書、一式当り内訳書には、工事工種体系の工事区分（レベル1）から積算要素（レベル6）までの項目全てを記載するものとする。なお、体系階層毎の記載方法は以下のとおりとする。

- 1) 工事区分（レベル1）の数量及び単位は1式と記載する。
- 2) 工種（レベル2）の数量及び単位は1式と記載する。
- 3) 種別（レベル3）の数量及び単位は1式と記載する。
- 4) 細別（レベル4）の数量は、「土木工事数量算出要領（案）」の別表－1若しくは「土木工事標準積算基準書（共通編）」に掲載されている数値基準の表に定められている数値に四捨五入するものとする。ただし、設計数量（四捨五入の前）がその数値に満たない場合は、有効数値第1位まで求めるものとする。なお、設計表示単位及び数値の適用は細別毎を原則とし、単位は積算体系ツリーの積算用単位を使用することとする。
- 5) 規格（レベル5）には、体系階層（レベル）の定義で定める規格項目を記載するものとする。
- 6) 積算要素（レベル6）の数量は、細別（レベル4）の数値の1位下位※まで記載し、四捨五入して求めるものとするが、設計数量（四捨五入の前）がその数値に満たない場合は、有効数値第1位まで求めるものとする。なお、単位は1式で記載せず、積算体系ツリーの積算単位等をもとに記載するものとする。

※レベル4で有効数値第1位をとった場合であっても、その1位下位ではなく、レベル4の本来の数値基準の数値の1位下位を参照する。

・積算体系ツリー（国総研ホームページ）

<https://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/sekisan/tree/tree.htm>

【記載例】

設計内訳書

設計内訳書（本01）

工事名	〇〇〇線〇〇〇工事		事業区分 工事区分		道路新設・改築 道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路改良							
道路土工		式	1		13,212,731		
掘削工		式	1		1,654,969		
掘削	土砂	式	1		196,670		内 1号
路床盛土工		m3	550		196,670		
路床盛土		式	1		417,049		内 2号
残土処理工		m3	70		417,049		
整地	残土受入れ地での処理	式	1		1,041,250		内 3号
土砂等運搬	土砂	m3	620		85,625		内 4号
排水構造物工		m3	620		955,625		
作業土工		式	1		5,790,949		
床掘り	土砂	式	1		410,824		内 5号
埋戻し		m3	260		123,024		内 6号
		m3	100		287,800		

一式当り内訳書

一式当り内訳書

内 1号		掘削		土砂		単価使用年月		2023.10	
名称・規格		条件		単位		数量		単価	
掘削		土砂、オープンネット、無し、無し、5,000m3 未満		m3		554		355	
CB210100								196,670	
合計								196,670	

【計上数量の算定例】

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	当初数量		摘要
							計算数量	計上数量	
数値基準で設計表示数値が「10」の場合									
		掘削工				式		1	
			掘削			m3	109.0	110	数値(10)
				CB210100	掘削	m3	98.5	99	数値(1)
				CB210100	掘削	m3	9.6	10	数値(1)
				CB210100	掘削	m3	0.9	0.9	数値(1)に満たないため有効数値第1位
			掘削			m3	6.7	7	数値(10)に満たないため有効数値第1位
				CB210100	掘削	m3	5.5	6	数値(1)
				CB210100	掘削	m3	0.9	0.9	数値(1)に満たないため有効数値第1位
				CB210100	掘削	m3	0.3	0.3	数値(1)に満たないため有効数値第1位
			掘削			m3	0.95	1.0	数値(10)に満たないため有効数値第1位
				CB210100	掘削	m3	0.95	1.0	数値(1)に満たないため有効数値第1位 ↑有効数値第1位を取る場合は、その1位下位を四捨五入
数値基準で設計表示数値が「1」の場合									
		側溝工				式		1	
			プレキャストU型側溝			m	98.5	99	数値(1)
				U型側溝		m	98.5	98.5	数値(0.1)
			プレキャストU型側溝			m	0.6	0.6	数値(1)に満たないため有効数値第1位
				U型側溝		m	0.6	0.6	数値(0.1)
			プレキャストU型側溝			m	0.05	0.05	数値(1)に満たないため有効数値第1位
				U型側溝		m	0.05	0.05	数値(0.1)に満たないため有効数値第1位

(4) 諸経費内訳、間接費一覧

対象工事の諸経費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費等）の内訳、一覧が表示される様式である。

(5) 積算参考資料（間接費補正一覧）

積算に必要な情報（単価地区、諸経費工種区分、施工地域・工事場所区分等）が表示される様式である。

(6) 単価表

設計単価の内訳が表示される様式である。

(7) 登録単価

設計書作成者が青森県土木積算システムへ登録した単価の一覧表である。

(8) 入力データリスト

単価表の歩掛選定条件（J条件）が表示される様式である。

(9) その他必要な資料

登録単価根拠資料など、積算の根拠となる資料を添付するものとする。

(10) 特記仕様書

特記仕様書は、発注する工事のみに適用される事項を示すものであり、「共通仕様書」（青森県県土整備部制定）を補完するものである。特記仕様書には、現場条件等を考慮し施工上必要となる条件を明示するものとする。

条件の明示は、本要領の末尾の様式によることを基本とする。

(11) 工事数量総括表

工事数量総括表には、工事工種体系の工事区分（レベル1）から規格（レベル5）までの項目を記載するものとする。なお、体系階層毎の記載方法は以下のとおりとする。

1) 工事区分（レベル1）の数量及び単位は1式と記載する。

2) 工種（レベル2）の数量及び単位は1式と記載する。

3) 種別（レベル3）の数量及び単位は1式と記載することを原則とする。

但し、土工（作業土工を除く）については、種別（レベル3）で総量を m^3 で記載するものとする。

4) 細別（レベル4）の数量は、工事費内訳表と同じ数量を記載することを原則とする。

なお、単位は積算体系ツリーの工事数量総括表用単位を使用することとする。

但し、土工（作業土工を含む）については、作業内容・数量が検収を伴わない任意として取り扱われるため、1式として記載するものとする。

5) 規格（レベル5）には、工事費内訳表と同じ規格項目を記載するものとする。

【記載例】

工事数量総括表

工事数量総括表(本01)

工事名	〇〇〇線〇〇〇工事			事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要	
道路改良		式		1			
道路土工		式		1			
掘削工		m ³		550			
掘削	土砂	式		1			
路床盛土工		m ³		70			
路床盛土		式		1			
残土処理工		式		1			
整地	残土受け入れ地での処理	式		1			
土砂等運搬	土砂	式		1			
排水構造物工		式		1			
作業土工		式		1			

工事数量総括表(本01)

工事名	〇〇〇線〇〇〇工事			事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要	
床掘り	土砂	式		1			
埋戻し		式		1			
側溝工		式		1			
プレキャスト型側溝	US3-B400A	m		10			
プレキャスト型側溝	US3-B300A	m		10			
自由勾配側溝	消・流雪溝B750用(側部ベース型)	m		73			
側溝蓋	US3-B400用	枚		19			
側溝蓋	US3-B300用	枚		19			
側溝蓋	消・流雪溝B750用(側部ベース型)	枚		62			
通水網	消・流雪溝B750用(側部ベース型)	組		73			
止水板	消・流雪溝B750用(側部ベース型)	組		3			

【作成例】

土 量 計 算 書 (1/2)								
測 点	距離	掘削(オープンカット)			掘削(片切)			備 考
		断面	平均	体積	断面	平均	体積	
NO. 3	0.0	27.3			7.5			
NO. 4	9.0	21.3	24.30	218.7	6.3	6.90	62.1	
NO. 5	20.0	18.5	19.90	398.0	6.1	6.20	124.0	
NO. 24	+5.400	5.4	5.5	5.25	28.4	1.1	0.85	4.6
小計		414.4			1,783.5			287.4

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	当初数量		変更数量		摘要
							計算数量	計上数量	計算数量	計上数量	
舗装	道路土工				積算要素毎に詳細数量計算書から移記する	式					施工条件等の情報を記載する
		掘削工				式		1			
			掘削(土砂)			式		1			
					バックホウ掘削積込(積込)	m3	2070.9	2100			
					片切掘削(人力併用機械掘削)	m3	1783.5	1780.0			オープンカット掘削
		路体盛土工				m3	287.4	290.0			片切掘削
			路体(流用土)			m3	753.3	750			
					ブルドーザ敷均し	m3	616.7	620			
					タイヤローラ締固め	m3	430.9	431.0			W \geq 4.0m
					人力盛土(埋戻し)	m3	430.9	431.0			W \geq 4.0m
						m3	42.1	42.0			W<1.0m 畦畔

レベル6 積算要素	単位	当初数量		変更数量		摘要
		計算数量	計上数量	計算数量	計上数量	
	式		1			
	式		1			
	式		1			
	m3	2070.9	2100			
バックホウ掘削積込(積込)	m3	1783.5	1780.0			オープンカット掘削
片切掘削(人力併用機械掘削)		287.4	290.0			片切掘削
	m3	753.3	750			
	m3	616.7	620			
ブルドーザ敷均し	m3	430.9	431.0			W \geq 4.0m
タイヤローラ締固め	m3	430.9	431.0			W \geq 4.0m
人力盛土(埋戻し)	m3	42.1	42.0			W<1.0m 畦畔

レベル4で数値基準を適用して丸めを行う。

設計数量の合計をレベル4に対応する欄に記載する。

レベル6それぞれは、レベル4の1位下位で丸めを行う。

(14) 図面

図面(電子)の大きさはA列用紙サイズとし、A1を標準とする。図面(紙)はA3での印刷を標準とする。

- 1) 平面図、縦断図は施工範囲を旗上げ(施工延長を示す)・赤着色を基本とする。
- 2) その他図面についても、施工箇所が分かるように赤着色や不要となる横断図や構造図等を削除(又は×をつける)する。

(15) 変更図面

- 1) 平面図(橋梁工事の場合は橋梁一般図)を必ず添付し、この他には変更のあった図面(廃止図面含む)のみを添付し、変更のない図面は添付しない。
- 2) 図面番号は添付する図面(廃止図面含む)のみを対象に振る。
- 3) 変更図面(廃止図面は含まない)の表題の下に赤字で「第〇回変更」と記載する。
- 4) 新規の工種等がある場合は、赤書きとする。
- 5) 数量に変更がある場合は、変更前数量の上に変更後数量を赤書きする。なお、数量変更がなかった場合の「〃」は不要である。
- 6) 変更のある図面で、廃止となる工種がある場合は、廃止する工種名と数量を赤の実線(一)で見え消しする。図ごと廃止する場合は、廃止図に赤の×印をつける。
- 7) 施工とりやめ等により不要となった図面は、表題の下に赤字で「廃止」と記載するか図面に大きく×をつける。
- 8) 大幅な変更により図面がはん雑となる場合は変更図面を別葉とする。変更前の図面は廃止図面とし、表題の下に赤字で「廃止」と記載するか図面に大きく×をつけ、別葉とした変更図面の次に添付する。

5 作成部数

作成部数は、以下のとおりとする。

- | | |
|-----------------|----|
| 1) 設計書 (①～⑪) | 2部 |
| 2) 設計図書 (⑫、⑬、⑳) | 2部 |
| 3) 参考資料 (⑭～⑲) | 2部 |

なお、設計金額1億円以上で県庁審査を受ける場合は3部作成のこと。

(①設計書表紙)

部 長	次 長	担 当 課 長	担 当 副 課 長	審 査 者	設 計 者

令和 年度 第 号

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 工 事

実施 設計書

青森県 ○○市 ○○地内

青 森 県

(②工事総括表)

工 事 総 括 表

工事概要	施工延長 L = 215.9 m		
	舗装工	1	式
	排水構造物工	1	式
	縁石工	1	式
	標識工	1	式
	設計額	96,943,000 円 (内消費税 8,813,000 円)	変更による 増減額
請負額		変更による 増減額	

(③設計内訳書)

設計内訳書 (本01)

工事名 ○○○線○○○工事					事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路改良							
		式	1		13,212,731		
道路土工							
		式	1		1,654,969		
掘削工							
		式	1		196,670		
掘削	土砂						内 1号
		m3	550		196,670		
路床盛土工							
		式	1		417,049		
路床盛土							内 2号
		m3	70		417,049		
残土処理工							
		式	1		1,041,250		
整地	残土受入れ地での処理						内 3号
		m3	620		85,625		
土砂等運搬	土砂						内 4号
		m3	620		955,625		
排水構造物工							
		式	1		5,790,949		
作業土工							
		式	1		410,824		
床掘り	土砂						内 5号
		m3	260		123,024		
埋戻し							内 6号
		m3	100		287,800		

(④諸経費内訳書 (共通仮設費内訳))

共通仮設費内訳

主工種 04:道路改良工事

主たる工種		単独 (追加工事) : 道路改良工事		合算工事 :	
対象工事費	48,056,286	直接工事費	48,056,286	準備費 (処分費用)	0
				その他直工扱い共仮積上額	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独 (追加工事)	350,000	現工事	0
				合算工事	0
非対象額計 (-)			-8,300		
管理費区分1			0	(橋梁、PC桁、ポンプ等購入費)	
管理費区分2, 7			0	(工場原価)	
管理費区分5			0	(一般管理費等のみ対象額)	
管理費区分9			-8,300	(間接費非対象額)	
管理費区分T			0	(全処分費等のうち3%または3,000万円を超える額)	
対象額 支給品費 (+)			0		
無償貸付機械評価額 (+)			0		
共通仮設費対象額		単独 (追加工事)	48,064,586	現工事	0
		全処分費等を除く共通仮設費対象額 (調整工事入力で使用)	47,714,586		0
共通仮設費 (率分)	率 (補正前)		10.47%		0.00%
	施工地域等補正		1.3		0.00%
	除雪工事補正		1.00		0.00
	ICT施工補正		1.0		0.00
	率 (補正後) 週休2日 4週8休以上	1.04	14.15%		0.00%
	計上額		6,801,000		0
				調整工事計上額	0

(④諸経費内訳書 (現場管理費))

現場管理費

主工種 04:道路改良工事

単独 (追加工事) 純工事費	55,574,886	単独 (追加工事) 直接工事費	48,056,286	単独 (追加工事) 共通仮設費	7,518,600	
非対象額計 (-)		-8,300				
管理費区分2,7		0	(工場原価)			
管理費区分5		0	(一般管理費等のみ対象額)			
管理費区分9		-8,300	(間接費非対象額)			
管理費区分T		0	(全処分費等のうち3%または3,000万円を超える額)			
対象額 支給品費 (+)		0				
支給品で扱う桁等購入費 (+)		0				
無償貸付機械評価額 (+)		0				
現場管理費対象純工事費						
単独 (追加工事)		55,583,186	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く現場管理費対象純工事費 (調整工事入力で使用)		55,233,186		0		0
現場管理費	率 (補正前)	29.74%		0.00%		0.00%
	施工地域等補正	1.1		0.00%		
	施工時期補正	0.00%		0.00%		
	緊急工事補正	0.00%		0.00%		
	砂防・地滑り補正	0.00%		0.00%		
	ICT施工補正	1.0				
	率 (補正後) 週休2日 4週8休以上 1.06	34.67%		0.00%		
	計上額	19,270,000		0		0
					調整工事計上額	0

(④諸経費内訳書 (一般管理費))

一般管理費等 (当初)					
主工種 04:道路改良工事					
工事原価	74,844,886				
純工事費	55,574,886	現場管理費	19,270,000	工期延長に伴う現場維持費	0
工場製作原価	0				
非対象額計 (-)		-8,300			
管理費区分9		-8,300		(支給品を除く間接費非対象額)	
管理費区分T		0		(全処分費等のうち3%または3,000万円を超える額)	
一般管理費等対象工事原価					
単独 (追加工事)		74,853,186	現工事	0	合算工事 0
全処分費等を除く		74,503,186		0	0
一般管理費等対象工事原価 (調整工事入力で使用)					
率 (補正前)					
単独 (追加工事)		17.72%	現工事	0.00%	合算工事 0.00%
前払金支出割合による補正係数		1.00		0.00	0.00000000
財団法人等による補正係数		1.00		0.00	0.00000000
率 (補正後)		17.72%		0.00%	0.00%
(当初一般管理費対象額)		74,853,186		0	
契約保証に係る補正值		0.04%		0.00%	
一般管理費等		13,285,114			
業務委託料		0			

(⑤積算参考資料 (間接費補正一覧))

積算参考資料 (間接費補正一覧)

単 価 使 用 年 月	2023年10月		
歩 掛 適 用 年 月	2023年10月	係 数 ラ ン ク	1
基 準 適 用 年 月	2023年10月		
単 価 地 区	青森市(旧浪岡町)		
豪 雪 割 増	B地区		
労 務 単 価 割 増 率	0%		
現場環境改善費 (率計上)			
市 街 地 補 正	市街地以外		
共通仮設費 (率計上)			
主 たる 工 種	04:道路改良工事		
施 工 地 域 等 補 正	一般交通影響有り (1) - 2		1.3
除 雪 工 事 補 正	未使用		1.00
I C T 施 工 補 正	補正なし		1.0
週 休 2 日 補 正	4週8休以上		1.04

(⑥間接費一覧)

間接費一覧

主工種 04:道路改良工事

費目	工種	対象額 (円)	補正後率 (%)	計上額 (円)
	直接工事費			48,056,286
	準備費に含まれる処分費			0
	事業損失防止施設費			0
	仮設費			0
	その他直接工事費扱い共通仮設費対象額			0
共通仮設費対象工事費				48,056,286
	共通仮設費 (率分)	48,064,586	14.15	6,801,000
	運搬費			174,600
現場環境改善費対象工事費				48,056,286
	現場環境改善費 (率分)	47,714,586	1.14	543,000
現場管理費対象純工事費				55,574,886
	現場管理費	55,583,186	34.67	19,270,000
	工期延長等に伴う現場維持費			0
	桁等購入費			0
工事原価計				74,844,886
	一般管理費等	74,853,186	17.72	13,285,114
	業務委託費			0
工事価格				88,130,000
消費税等相当額				8,813,000
工事費計				96,943,000

(⑦一式当り内訳書)

一式当り内訳書							単価使用年月	2023. 10
							歩掛適用年月	2023. 10
							労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
内 1号	掘削	土砂						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
	掘削	土砂, オープンカット, 無し, 無し, 5,000m3 未満						02-01-02
	CB210100		m3	554	355	196,670		
	合計					196,670		

一式当り内訳書							単価使用年月	2023. 10
							歩掛適用年月	2023. 10
							労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
内 2号	路床盛土							
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
	路床盛土	2.5m未満						02-01-02
	CB210520		m3	73	5,713	417,049		
	合計					417,049		

(9)登録単価

登録単価

工事名	〇〇〇線〇〇〇工事						
コード	名称	規格	単位	単価	年度	月	備考
Y000300000001	側溝	消流雪溝 750×1000×2000mm 側部 基本側溝	個	45,000	2023	10	確定
Y000300000002	側溝	消流雪溝 750×1100×2000mm 側部 基本側溝	個	47,600	2023	10	確定
Y000300000003	側溝	消流雪溝 750×1200×2000mm 側部 基本側溝	個	50,000	2023	10	確定
Y000300000004	側溝	消流雪溝 750×1300×2000mm 側部 基本側溝	個	56,700	2023	10	確定
Y000300000005	側溝	消流雪溝 750×1400×2000mm 側部 基本側溝	個	59,600	2023	10	確定
Y000300000006	側溝	消流雪溝 750×1400×2000mm 側部 止水側溝	個	97,500	2023	10	確定
Y000301000001	側溝蓋	流雪溝用ふた(基本側溝用) 車道用 750用	枚	4,800	2023	10	確定
Y000301000002	側溝蓋	流雪溝用グレーチング(投雪口用) 車道用 750用	枚	105,100	2023	10	確定
Y000301000003	側溝蓋	流雪溝用グレーチング(止水口用) 車道用 750用	枚	91,300	2023	10	確定
Y001170003001	道路標識板	警戒標板、ｶﾞﾌﾞﾙ型、585×585mm(金具含む)	基	23,900	2023	10	確定
Y007600001001	処分費	無筋Co殻	t	300	2023	10	確定
Y007600001002	処分費	鉄筋Co殻	t	600	2023	10	確定
Y007600001003	処分費	As殻	t	500	2023	10	確定
Y007600001004	処分費	As切削殻	t	300	2023	10	確定
ZZ99*01*01001	通水網	消・流雪溝B750用(側部ﾊﾞｲﾊﾞｽ型)	組	4,800	2023	10	確定
ZZ99*01*01002	止水板(スクリーン一体型)	H=1400mm 側部ﾊﾞｲﾊﾞｽ型	組	143,400	2023	10	確定
ZZ99*01*02001	ｽﾊﾞｲﾗﾙｸﾞﾚｰﾄ	φ500	m	2,980	2023	10	確定

(⑩入力データリスト (金入り))

入力データリスト (本01)

工事名	○○○線○○○工事			事業区分	道路新設・改築
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回/今回 入力条件	単価 前回/今回	金額 前回/今回	摘要
道路改良 (0001)	式	1		13,212,731	
道路土工 (0002)	式	1		1,654,969	
掘削工 (0003)	式	1		196,670	工種 04:道路改良工事
掘削 (0004)	m3	550		196,670	オプション入力 第0001号内訳書 単位数量 1 m3 管理費区分 0 歩 2023.10 単 2023.10 単価地区 青森市(旧浪岡町) 労調係数 1.000 00-00 0 豪雪割増 B地区 潮間割増 0% 係数ランク 1 週休2日補正 4週8休以上
掘削	m3	554	355	196,670	CB210100 317.66 管理費区分 0 歩 2023.10 単 2023.10 単価地区 青森市(旧浪岡町) 労調係数 1.000 00-00 0 豪雪割増 B地区 潮間割増 0% 係数ランク 1 単価補正
J01 土質		土砂			
J02 施工方法		オープンカット			
J03 押土の有無		無し			
J04 障害の有無		無し			
J05 施工数量		5,000m3未満			
バックホリ(クローラ型) [標準型・超低騒音型] 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8m3	%	43.088		153.1	M000202090 管理費区分 0 歩 2023.10 単 2023.10 単価地区 青森市(旧浪岡町) 労調係数 1.000 00-00 0 豪雪割増 B地区
標準構成比			45.14		
標準単価			20,600		
地区単価			22,000		

(13)工事数量総括表)

工事数量総括表(本01)

工事名	○○○線○○○工事			事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路改良		式		1		
道路土工		式		1		
掘削工		m3		550		
掘削	土砂	式		1		
路床盛土工		m3		70		
路床盛土		式		1		
残土処理工		式		1		
整地	残土受入れ地での処理	式		1		
土砂等運搬	土砂	式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		

(14参考資料表紙)

令和〇〇年度 工事番号 〇〇第〇〇〇〇号

〇〇〇〇〇道路改良工事

参 考 資 料

青森県 〇〇市 〇〇大字 〇〇地内

注) 工事価格の円滑な見積りに資する資料であり、工事請負契約を拘束するものではない

(17)入力データリスト (金抜き)

【参考資料】積算入力データリスト (本01)

工事名		○○○線○○○工事		事業区分	道路新設・改築
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回/今回 入力条件	単価 前回/今回	金額 前回/今回	摘要
道路改良 (0001)	式	1			
道路土工 (0002)	式	1			
掘削工 (0003)	式	1			
掘削 (0004)	m3	550			オプション入力 第0001号内訳書 単位数量 1 m3 管理費区分 0 歩 2023.10 単 2023.10 単価地区 青森市(旧浪岡町) 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 4週8休以上
掘削	m3	554			CB210100 管理費区分 0 歩 2023.10 単 2023.10 単価地区 青森市(旧浪岡町) 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
J01 土質		土砂			
J02 施工方法		オープンカット			
J03 押土の有無		無し			
J04 障害の有無		無し			
J05 施工数量		5,000m3未満			
路床盛土工 (0005)	式	1			
路床盛土 (0006)	m3	70			オプション入力 第0002号内訳書 単位数量 1 m3

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。